

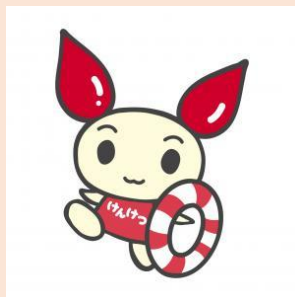
届けようあなたの気持ち誰かの明日へ

「岡山県愛の血液助け合い運動」に参加して

7月・8月の2ヶ月を「岡山県愛の血液助け合い運動」月間と定められています。
今回、1年生が献血キャラバン隊として献血の必要性をご理解いただくための活動を行ないました。血液センターの見学では、多くの学びがありました。

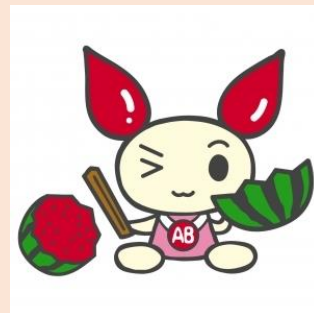
血液センターを自分の目で見ること
で、献血が医療にとってどれだけ大切な存在であるか、どれだけの人
が助けられているのかを実感することが
できました。献血キャラバン隊と
して「岡山県愛の血液助け合い運
動」に参加しました。たくさんの人
のご理解とご協力があってこそ献血
が成り立っていること、輸血用の血
液があることが当たり前ではない
こと等を感じました。訪問した学
校でお渡しした資料が、一人でも多
くの人の元に届き、興味をもって献
血していただけたら幸いです。

(学生A)



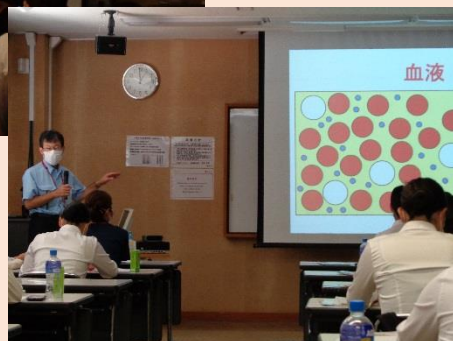
国内には輸血を必要としている人が全
国で一日約3000人いると言われてい
ます。自分が思っている以上に多く、
病気と闘っておられる人達を救えるの
は、献血ができる自分たちであると思
いました。

(学生B)

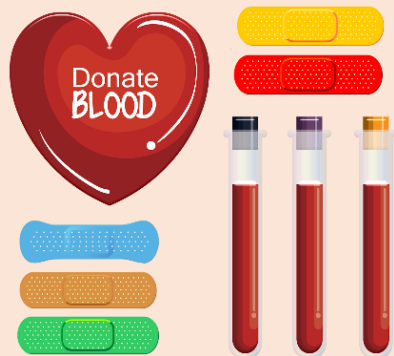




講義を受けていくうちに献血に参加してみようと思いましたが、前日の夜、少し怖くてやりたくないと思いましたが、母の言葉に後押しされ献血で助けられる人がいると考えました。今度は献血に興味のない人に重要性を伝えていきたいと思います。(学生C)



献血することに意味があり、その行動が病気と闘っている人の心までも支えることができると感じました。血液が不足する時期を教えてもらったので、その時期に積極的に献血したいと思います。献血をしてくれた何人もの人たちの小さな協力が、輸血を受けられた人の笑顔に繋がると感じました。(学生D)



献血ができる人には限りがあり、血液が不足している現状を深く受け止め、健康である自分自身は血液を必要としている人に笑顔になってもらえるように、献血に参加していきたいです。(学生E)

